

4°C

## 株式会社4°Cホールディングス 第64期株主通信

holdings group

(2013年3月1日から2014年2月28日まで)



代表取締役社長 鈴木 秀典

## 株主の皆様へ

～すべてはおお客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に  
対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企  
業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すこ  
とを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創  
造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指  
してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支  
援・ご助力をいただければ幸いです。

## 2013年度の総括

第3次中期経営計画の2年目となる2014年2月期、引き続き  
「Challenge & Progress(挑戦と躍進)」をテーマに掲げ、企業価値の  
向上に取り組みました。上期の業績が計画通りに推移し、下期も  
ジュエリー事業最大の商戦月である12月の売上高が前年を大きく  
上回るなど、計画以上に進展しました。その結果、3期連続の増収、  
5期連続の増益となりました。なお、営業利益、当期純利益は2期連  
続、経常利益は3期連続で過去最高を更新しました。

事業会社別に見ると、エフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、  
「4°C」(ヨンドシー)ジュエリーをはじめとして既存店が好調、「4°C  
BRIDAL」(ヨンドシーブライダル)、「canal4°C」(カナルヨンドシー)が  
順調に出店拡大し、増収増益となりました。アスティグループは、  
円安の影響で売上高は苦戦したものの、子会社が損益改善しました。  
(株)三鈴は、減収減益と苦戦しました。(株)アーヂュは、主力のデ일리  
ファッション事業の「パレット」が順調に拡大しました。

## 株主の皆様への利益還元

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と  
認識し、安定的・継続的な配当を基本としつつ、機動的に自社株買い  
を実施すること等により利益還元の水準向上を目指しております。  
当期末の配当は、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高

益を更新したことから、5円の特別配当を加え、年間配当を30円と  
させていただきます。2014年度は中間、期末ともに16円の年間  
配当32円と2円の増配を予定しています。

## 次期見通しと数値ビジョンの達成に向けて

第3次中期経営計画の最終年度である2015年2月期の通期業績は、  
引き続き増収と年10%を基本とした増益を計画し、過去最高益を更新  
する見通しです。これをふまえ、2015年2月期の「数値ビジョン」として  
連結売上高515億円、経常利益高63億円、経常利益率12.2%、

ROE8.2%の目標を掲げました。当社グループはこれらの「数値ビジ  
ョン」の達成に向けて、6つの成長エンジン「4°C」ジュエリー、「4°C  
BRIDAL」、「canal4°C」、アパレルメーカー事業、アパレルSPA事業、デ  
イリーファッション事業 — のさらなる強化・拡大に取り組んでまいります。

## 第3次中期経営計画の基本方針 (2013年2月期～2015年2月期)

## 事業ビジョン

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおけるチャネル<br>戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大 | 5 海外戦略の推進         |
| 2 アスティグループにおける企画・生産機能の強化による<br>アパレルメーカー事業の収益向上          | 6 EC事業の拡大         |
| 3 (株)三鈴におけるコアブランドの育成による<br>アパレルSPA事業の確立                 | 7 「4°C」ブランドの価値向上  |
| 4 (株)アーヂュにおける都市型フォーマットの確立による<br>デイリーファッション事業の収益向上       | 8 各グループ子会社の利益体質強化 |

## 組織ビジョン

- グループシナジー体制の構築
- グループ業務機能の集約・強化
- グループ次期基幹システムの構築
- グループ人材育成の推進

数値ビジョン (2015年2月期)  
目標

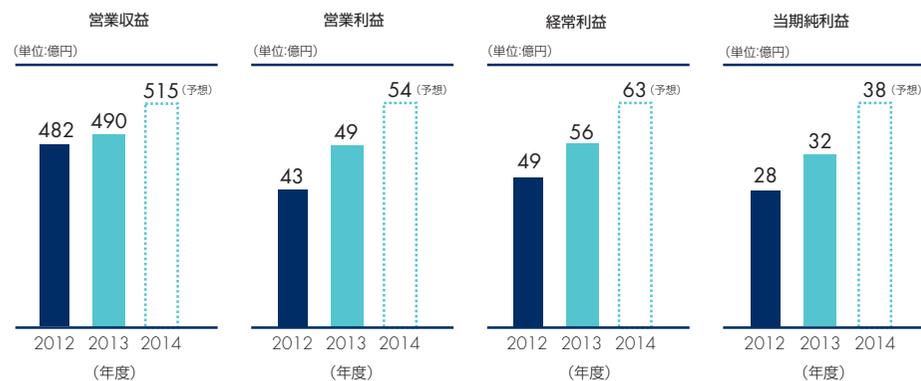
連結売上高	515億円
経常利益率	12.2%
ROE	8.2%

# 2013年度(2013年3月～2014年2月)連結決算概要

## 2014年2月期連結業績

- 増収大幅増益となりました。3期連続増収を実現し、営業利益、当期純利益は2期連続、経常利益は3期連続で過去最高益を更新しました。
- 2015年2月期の通期連結業績は、引き続き増収増益を計画、各利益とも過去最高益を更新予定です。
- 年間配当金は8円増配し30円となりました。次期は32円を予定しています。

営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
<b>490億円</b> (前期比 +1.6%)	<b>49億円</b> (前期比 +14.4%)	<b>56億円</b> (前期比 +15.5%)	<b>32億円</b> (前期比 +14.3%)



## セグメント情報

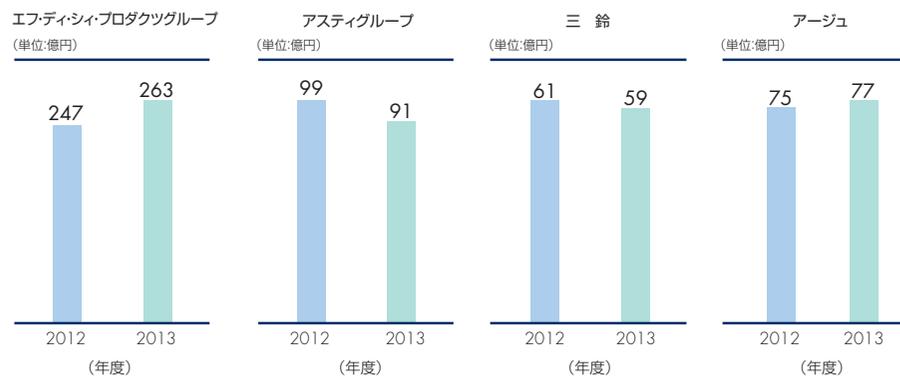
- エフ・ディ・シー・プロダクツグループは、既存店の好調と出店拡大により増収となりました。前期に引き続き営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高益を更新しました。
- アスティグループは、円安の影響等により減収となりましたが、子会社の損益改善で増益となりました。
- 三鈴は、天候不順の影響や新店の不振等により減収減益となりました。
- アージュは、主力のデリーファッション事業「パレット」の既存店の健闘や新規出店が進んだことにより、増収増益となりました。

### 事業区分別業績

	営業収益 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2013年2月期	2014年2月期	前期比(%)	2013年2月期	2014年2月期	前期比(%)
エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	24,678	26,277	+6.5	3,756	4,374	+16.5
アスティグループ	9,940	9,107	△8.4	542	557	+2.8
三鈴	6,141	5,881	△4.2	75	△69	—
アージュ	7,477	7,737	+3.5	151	160	+6.2
合計	48,237	49,003	+1.6	4,289	4,906	+14.4

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する営業収益を表示しています。

### 事業区分別営業収益



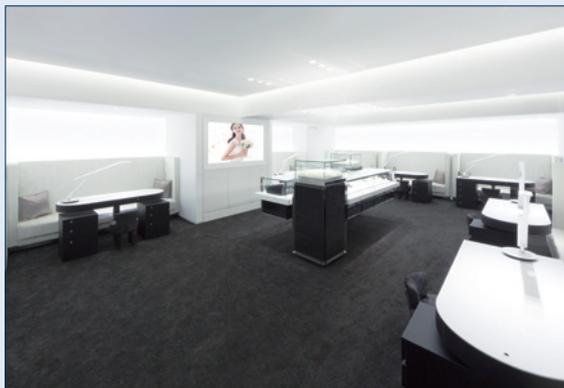
## トピックス

### 「4℃BRIDAL」銀座本店リニューアル

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2014年3月、年々順調に成長を続けてきた旗艦店である「4℃BRIDAL」銀座本店が装いを新たに再スタートを切りました。

中階段で繋がる2階フロアを増床し、コンサルティングスペースへと特化することで、お客様への接客空間が更に心地良くなりました。



2階フロアのコンサルティングスペース

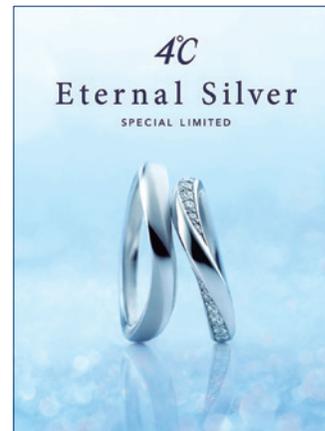


リニューアルされた「4℃BRIDAL」銀座本店

### 時を重ねて輝く新素材「4℃エターナルシルバー」2014年6月デビュー

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

1972年、ブランドの誕生から今日まで、「世の中にないものをつくりたい」という変わらぬ想いで様々なシルバージュエリーを生み出してきた4℃。その想いがカタチとなり2014年、新たな素材「4℃エターナルシルバー」が誕生します。—永く、毎日身に着けて欲しいから—時を重ねても美しい「4℃エターナルシルバー」は変色しにくく、真の輝きに溢れた4℃オリジナル素材です。それは今までにない、女性の心を満たす上質なシルバージュエリー。特別な想いをこの輝きにたくし、これからもずっとそばに。



4℃エターナルシルバーの販促広告

### 「4℃」杭州大厦購物城店オープン

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

浙江省杭州は中国主要都市の中でも、近年伸張著しい一級都市の一つです。8大古都にも数えられ、人口も8番目。その中心繁華街である武林広場に位置した杭州大厦は、ホテルと飲食も兼ね備えた複合商業施設で、2010年には中国国内で売上トップにもなった百貨店です。上海マーケットのみならずこうした地方主要都市も視察をし、商業施設と交渉を重ねて出店の機会をうかがっております。



「4℃」杭州大厦購物城店

### 株式会社三鈴ホームページリニューアル

#### 株式会社三鈴

2014年4月より、コーポレートサイトを全面リニューアルしました。コンテンツの充実とユーザビリティの向上により、企業理解の促進を図りました。



三鈴ホームページ <http://misuzugp.co.jp/>

### パレット堺大仙店オープン

#### 株式会社アージュ

2014年3月、大阪府堺市にパレット堺大仙店がオープンしました。お客様に優しいお店創りを目指して、広い通路と見て楽しんでいただける商品提案コーナーを増やしました。



パレット堺大仙店

## 株主情報

### 株式情報 (2014年2月28日現在)

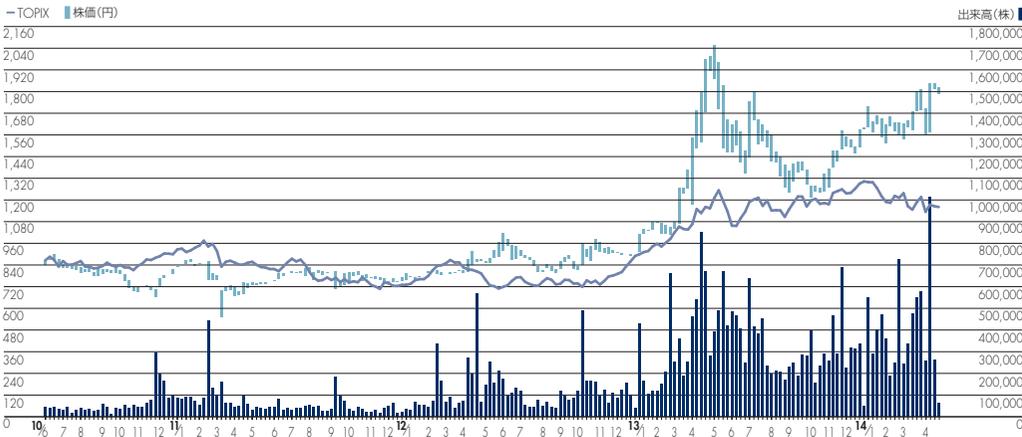
発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	9,625名

### 大株主 (2014年2月28日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
株式会社フジ	5,224	17.81
株式会社広島銀行	1,424	4.86
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
4℃ホールディングスグループ共栄会	943	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	838	2.86
株式会社三井住友銀行	781	2.66
株式会社伊予銀行	739	2.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	497	1.70
株式会社もみじ銀行	477	1.63
東京海上日動火災保険株式会社	456	1.56

注:当社は自己株式644,619株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

## 株価推移

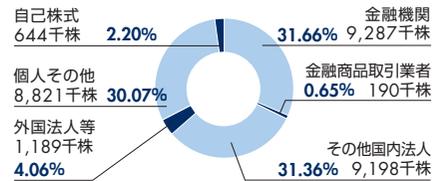


当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp>

### 株式分布状況 (2014年2月28日現在)

#### ■所有者別株式分布



### IRカレンダー

決算発表・説明会	毎年4月中旬
定時株主総会	毎年5月下旬
第1四半期決算発表	毎年7月上旬
第2四半期決算発表・説明会	毎年10月上旬
第3四半期決算発表	毎年1月上旬

## 会社概要 (2014年2月28日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス (英文)YONDOSHI HOLDINGS INC.
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	10社

## 役員 (2014年5月22日現在)

代表取締役会長	木村 祭氏
代表取締役社長	鈴木 秀典
常務取締役	宮本 聡
常務取締役	岩森 真彦
常務取締役	瀧口 昭弘
取締役	西村 政彦
取締役	久留米 俊文
取締役相談役(非常勤)	細田 信行
常勤監査役	田坂 英二
監査役	上村 信彦
監査役	藤森 友明

## 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) <a href="http://www.yondoshi.co.jp/">http://www.yondoshi.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

### 中間配当決議通知はがきの郵送廃止のお知らせ

中間配当に関するご案内につきまして、これまで「中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」と題したはがきをお送りしておりましたが、省資源化の観点などから同はがきの郵送を廃止させていただくことといたしました。今後はホームページにてご案内させていただきますので、どうぞご理解を賜りたくお願い申し上げます。

## 株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部

東京都江東区東砂7-10-11

お問い合わせ先

**0120-232-711** オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

各種手続き用紙のご請求

**0120-244-479** 音声自動応答 / 24時間受付

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知ください。

## IRお問い合わせ先

業務部 総務課

TEL:03-5719-3429

FAX:03-5719-4462

E-mail:  
[ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)